

5曲とも教材用に録音しなおしたのではなく、一流アーティスト本人が歌っているものです。

選曲にあたっては、リスニングや発音の練習に向けた素材を選ぶのと同時に、誰もが親しめる名曲を選択することを心がけました。そのかいあって、ベスト版CDとしても聞けるくらいの仕上がりになったと考えています。著者の私は制作過程から毎日聞いていますが、まったく飽きません。みなさんには、この5曲から好みに合う数曲を使って、Parrot's Lawメソッドにしたがって学習していただきます。

また、ウェブやメールなどで寄せられた質問への回答も「第4章 発音・リスニングQ&A」に収録しました。今後の学習の指針にしていただければと思います。

なお、前作をやっていない人でも、本書から先に練習をはじめてもかまいません（くわしくは「第1章 発音できない音は聞き取れない」をご覧ください）。

## Parrot's Lawとは

前作を読んでいない人のために、Parrot's Lawについて簡単に説明します。Parrot's Lawとは、私自身が英語を習得する過程で得た経験をもとに作った学習法です。

その後、大学での講義経験や、私の運営するウェブサイト「英語・発音・語彙」（<http://www.scn-net.ne.jp/language/>）にて、練習に参加して下さったみなさんの意見をもとに修正してきました。

特徴は、英語の歌やインタビュー、映画といった生の英語素材を使うところです。それらについて、しつこいくらいの繰り返し練習を行います（「第2章 Parrot's Law」でくわしく解説します）。

Parrot's Lawの名前の由来は、鳥のオウム（parrot）の調教です。オウムがはじめて人の言葉を覚えるまでに、約2000回訓練を繰り返す必要があるといえます。しかし、次に覚える言葉は数百回ですむそうです。訓練を積むことで、学習能力がアップしているわけです。

もちろん人間ならさらに著しい効果が望めます。やればやるほど楽になり、進歩が実感できるので、やる気が持続しやすいのです。

## 対象読者

本書は、英語を学ぶすべての人を対象にしています。

**初心者でもまったく問題ありません。これから英語を学習する中学生や、やりなおし英語をはじめたばかりの大人でも大丈夫です。**

英語学習の初期に発音を習得しておく、その後の学習の効率が劇的に向上します。最初から正しい音で単語や表現を覚えることができるため、あとで聞いてもすぐにわかりますし、自分で話しても通じます。ですから、初心者のうちにこの本に出会ったあなたは幸運といえるでしょう。

もちろん、中級者・上級者にもおすすめできます。とくに、英語の読み書きは大丈夫だけれどリスニングは苦手という人、発音に自信がないのでなんとかしたい人には効果があるでしょう。これまで蓄積した英語力を、もっともっと「生きた英語」に近づけることができると思います。

**年齢も問いません。正しい発音は、やり方を間違えなければ何歳からでも身につけることができます。**

前作の発表後、若い人だけでなく、50～70代までの幅広い年齢の